

- Weed Res, Japan. 35: 36-43.
- Nohara, S. & T. Tsuchiya. Effects of water level fluctuation on the growth of *Nelumbo nucifera* Gaertn. in Lake Kasumigaura. Jpn. J. Limnol. 51: 48.
- Sakurai, Y. Decrease in vegetation area, standing biomass and species diversity of aquatic macrophytes in Lake Kasumigaura (Nishiura) in recent years. Jpn. J. Limnol. 51: 45-48.
- Satake, K., K. Sibata & Y. Bando. Mercury Sulphide (HgS) crystals in the cell walls of the aquatic bryophytes, *Jungermania vulcanicola* Steph. and *Scapania undulata* (L.) Dum. Aquat. Bot. 36: 325-341.
- Uchida, N., H. Ohwaki, T. Yasuda & T. Yamaguchi. Effect of increase of the water level on the uptake and distribution pattern of nitrogen in the main stem and tillers of floating rice. Jap. J. Trop. Agr. 34: 27-34
- Yamasaki, S. Population dynamics in Overlapping zones of *Phragmites australis* and *Miscanthus sacchariflorus*. Aquat. Bot. 36: 367-377.
- 池上義信監修、石沢進編集『新潟県植物分布図集 第10集』(植物同好じねんじょ会、1989年12月、563頁、頒価7,000円)
- 本図書については、当会報No35, p13 (1989年3月)にも紹介(笹川通博氏)されているが、今回の第10集で、計1,000種の分布図が完成したことになる。10年間をかけての事業である。分布図と、そのもとになった分布資料が克明に収載されており、将来の増補・改訂も加えて、新潟県産植物の完璧な記録が目指されている。
- このほど、第1集から通して見る機会をもったが、4000余ページにわたる詳細な記録はまさに偉業というほかはない。今までに取り挙げられた水草は約30種にすぎないが、今後、残りの種についても作業が進むことを期待したい。分布図集の詳しい内容については笹川氏の紹介にゆずり、ここでは巻末や余白に収録されている小論文や雑録の中から、水草に関するものをリストアップしておく(凡例: 2: 253 → 第2集253頁)。
- 平 慎三: アサザとガガブタの群生. 6: 276.
 ———: 小苗代池のヒシモドキ. 7: 296.
 笹川通博: 北新保大池小池の植物. 8: 447-454.
 ———: 樹潟の植物. 8: 455-460.
 登坂裕一: 北蒲原郡藤塚浜のミズドクサ群落. 9: 8-9.
 笹川通博: マルバオモダガの生育. 9: 374.
 ———: 朝日池の植物. 9: 429-430.
 ———: コカナダモの生育. 9: 434.
 ———: 田海ヶ池の植物. 9: 438.
 刈屋 寿: 幻のヌマガヤツリ群落. 9: 458.
 石沢 進: 新潟県におけるミズニラの生育状況. 10: 12.
 笹川通博: 岩見堂岩の湿地 —東頸城郡松之山町兎口—. 10: 126.
 ———: 鶯沢の用水池の植物 —中頸城郡清里村—. 10: 304.
 ———: 新潟県におけるオグラノフサモの分布. 10: 398.
 ———: 新潟市松浜のホザキノフサモ群落. 10: 402.
 ———: ヒシモドキの残存 —豊栄市福島潟—. 10: 452.
 刈屋 寿: 幻のヌマガヤツリ群落(続報). 10: 349-350.
 高橋 務: 加茂市: 加茂川下流域のチクゴスズメノヒエ. 10: 523-524.

抄 録 J. Aquat. Plant Manage. (Vol. 27, Jan., 1989)

Comparative Shoot and Root Regeneration from Juvenile and Adult Aerial Leaf Explants of Variable-Leaf Milfoil (M. E. Kane & L. S. Albert)

若齡期(栄養成長期)および成熟期(生殖成長期)の *Myriophyllum heterophyllum* (フサモの仲間)の空中葉由来する外植体からの、シュートと根の再生実験を試験管内で行った。外植体は、サイトカイニン(N6-ベンジルアミノプリン(BA)、イソペンテニルアデニン(2iP)、ゼアチン(Z))とオーキシン(ナフタレン酢酸(NAA)、インドール酢酸(IAA))それぞれを0から20 μモルの濃度で加えたガンボルグB 5培地で、28日間培